

居住支援メルマガにご登録いただいているみなさま  
(BCCでお送りしています)

居住支援メルマガ(第1号)をお送りします。

このメルマガ(メールマガジン)では、各地で活躍する居住支援協議会や居住支援法人における情報の共有や、ネットワーク形成を促進することで、居住支援に関する取組の一層の活性化を目指します。  
国からの研修会・予算制度のご案内や、各自治体・団体等からのお知らせ・活動状況等といった幅広い情報を配信してまいります。

—平成 31 年 2 月 13 日 配信—

国土交通省住宅局安心居住推進課  
居住支援メルマガ【第1号】

【平成 31 年 2 月 第1号 目次】

■参加者を募集しています(2件)■

- 居住支援法人研修会 応用編(大阪 2/25・福岡 3/12、申込期限 2/18)
- 居住支援全国サミット(3/7、申込期限 2/28)

■各地の活動レポート(3件)■

- 第2回『地域包括ケア等×住宅建築ストック』政策クラフトルーム(九州)
- 高齢社会に対応した居住支援・福祉まちづくりに関する研究会(岩手)
- 名古屋市居住支援法人セミナー・交流会

■参加者を募集しています(2件)■

(1)居住支援法人研修会 応用編(大阪 2/25・福岡 3/12、申込期限 2/18)

【概要】

平成 30 年 12 月に開催した基礎コースに引き続き、

居住支援法人による居住支援活動の活性化を図るため、

居住支援法人研修会(応用コース)を企画しました。

応用コースでは、居住支援法人に期待される役割や具体的な取組方法、

居住支援協議会と居住支援法人との関係等について基礎的な情報を周知するとともに、

先進的な取組み事例の紹介、ネットワーク構築を目的としたグループワークを実施し、

より実践につながる内容となっております。

【日時】

①大阪会場 2019年2月25日(月)11:00~17:00(予定)

②福岡会場 2019年3月12日(火)11:00~17:00(予定)

★両会場とも申込締切は【2月18日(月)】です

【詳細】

案内:<http://koujuuzai.or.jp/documents/kenshuukai2019.pdf>

---

(2)居住支援全国サミット(3/7、申込期限 2/28)

---

【概要】

平成24年から国土交通省と厚生労働省が共催して行っている「居住支援全国サミット」を

今年も開催いたします。(平成24年~26年は「居住支援連絡会」として開催)

この居住支援全国サミットは、住宅確保要配慮者に対する居住支援の強化を図る目的から、

国における居住や福祉に関する施策と、

各地の居住支援協議会で行っている先進的な取組みに関する情報提供の場として設けているものです。

傍聴ご希望の方は下記URLをご参照の上、お申し込みください。

※当日の配布資料は、後日国土交通省・厚生労働省のHPに掲載する予定です。

【日時】

3月7日(木) 13:00~16:35(予定)

【詳細】

国土交通省プレスリリース:[http://www.mlit.go.jp/report/press/house07\\_hh\\_000200.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/house07_hh_000200.html)

---

■各地の活動レポート(3件)■

---

各地で居住支援に関わる関係者の連携を図る取り組みが進んでいます。

今回は、

(1)九州・沖縄ブロック

(2)東北ブロック

(3)名古屋市居住支援協議会

の取組みをご紹介します。

---

(1)第2回『地域包括ケア等×住宅建築ストック』政策クラフトルーム(九州)

---

「初めて直接お話ししますね…」と、某市の住宅担当と福祉担当。

1月に九州で開催した第2回「政策クラフトルーム」でのことです。

九州・沖縄では、九州厚生局と共同で、

本年度より「『地域包括ケア等×住宅建築ストック』政策クラフトルーム」を企画運営。

地域での連携施策創りを応援すべく、意欲ある5自治体の職員と、皆で知恵を出し合っています。

さて、冒頭の初顔合わせのお二人。最初は探り探りも、そのうち話が盛り上がり、

なんと、その場で連携施策(公営住宅の(遊休)集会場に、介護予防プログラムを出張)を提案し始めたんです！  
まさに、連携の意義である「気づき」や、Win-Win での「資源の相互活用」を目にした瞬間でした。

また、同月、沖縄では、説明会と相談会を開催。両省担当官のコンビプレゼンも冴えわたり、  
「連携の意義がわかった」などと好評でした。

引き続き、この企画を通じて自治体の連携施策創りを応援していきます。

(九州地方整備局 住宅調整官)

---

### (2) 高齢社会に対応した居住支援・福祉まちづくりに関する研究会(岩手)

---

東北地方ブロックでは、市町村において地域包括ケアや福祉まちづくり、  
居住支援に関わる各部局の連携を促進し、施策の実効性・一体性を高めるため、  
厚生局・地方整備局が連携し、県庁の協力を得て、標題記載の研究会を各県で順次開催する予定です。  
その第一弾として、本年1月28日に、岩手県内市町村・関係団体の参加を得て盛岡市内で開催し、  
両局の施策を相互に関連づけて紹介すると共に、  
県内で着手されている取組みを御紹介いただき、意見交換を行いました。  
居住の支援に関わる団体それぞれが専門とされる分野での一層の活躍を促進すると共に、  
賃貸住宅オーナー等との連携を促すため、また、そのことについて市町村・不動産関係団体の御協力を得るべく、  
上記会議以外にも説明の機会をいただきましたら、各地に伺います。ぜひお問い合わせください。

(東北地方整備局建政部 都市・住宅整備課 担当:大島)

岩手県研究会資料URL:<http://www.pref.iwate.jp/kenchiku/sumai/67323/070994.html>

---

### (3) 「名古屋市居住支援法人セミナー・交流会」を開催しました！

---

・日 時 平成 31年 1月 21日(月) 13 時 30 分～16 時 15 分

・参加者数 23 名  
(居住支援法人 6 団体 16 名、名古屋市社会福祉協議会はじめ 7 名)

・プログラム

第1部【セミナー】「先進事例に学ぶ居住支援活動」

(1) 講師(特非)おかやま入居支援センター理事長 井上雅雄 氏

(2) 講師(福)福岡市社会福祉協議会地域福祉課係長 栗田将行 氏

第2部【交流会】 情報交換のための交流会

セミナーでは、お二人の講師より支援ネットワークの形成や

支援体制のコーディネートなど要配慮者へのサポートについて、

また退去時の課題への対応策などについてご講演いただきました。

交流会では、各団体の活動紹介ののち、参加者から緊急連絡先の確保への課題や

「どこまで関わるべきか」という支援の範囲に関する疑問など率直な意見交換が行われました。

名古屋市では今後も、市域における居住支援活動の活性化とネットワークづくりに向け、

定期的に交流会を開催していく予定にしています。

【名古屋市住宅都市局住宅企画課 担当:藤井】

---

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

◆このメールマガジンでは、今後各居住支援協議会・居住支援法人のみなさまの活動についても配信してまいりたいと考えておりますので、掲載してほしい内容などございましたら下記アドレスまでご連絡ください。  
hqt-housing-support@mlit.go.jp

◆メールマガジンに関するご意見・ご要望、新規登録受付や配信停止はご所属・お名前を記載いただき、下記アドレスまでご連絡ください。  
また、配信先を変更する場合は、新しいメールアドレスをご明記の上ご連絡下さい。  
hqt-housing-support@mlit.go.jp

◇関連リンク

★住宅セーフティネット制度について

[http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku\\_house\\_tk3\\_000055.html](http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000055.html)

★住宅確保要配慮者居住支援協議会について

[http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku\\_house\\_fr3\\_000019.html](http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_fr3_000019.html)

---

発行:国土交通省住宅局安心居住推進課

〒100-8918

千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3 号館 2 階

TEL :03-5253-8111(代表)

Email:hqt-housing-support@mlit.go.jp

---